

人と動物が住み良いまちづくりのために ～「地域猫」活動について～

所有者のいない猫(野良猫)による生活環境被害の発生が全国的に社会問題となっています。

あなたの住むまちでこのような困りごとはありませんか？

野良猫のふん尿で不衛生だ

野良猫同士のなき声に迷惑している

野良猫が増えてきている

それなら...



Q. 野良猫にエサをあげなければいいのでは？

A. 野良猫にエサを与えなければ猫の数が減るわけではありません。エサを求めてゴミを漁り、住民に迷惑をかける可能性があります。

Q. 野良猫を捕獲すればいいのでは？

A. 野良猫も愛護動物です。殺処分を前提とした猫の捕獲は「動物の愛護及び管理に関する法律」で罰せられる可能性があります。



大阪市では野良猫による
被害を軽減するために

地域猫(街ねこ)活動

を推進しています。

「地域猫(街ねこ)」活動とは？

地域住民の十分な理解のもと、地域の野良猫に**不妊去勢手術**を行い、**一代限りの命**となった猫を**適正に管理していく地域活動**をいい、大阪市の事業ではこの猫のことを「街ねこ」と呼んでいます。

「地域猫(街ねこ)」活動のポイント

- ★ 地域住民の十分な理解のもとに行う
- ★ 置きエサ、撒きエサはせず、残ったエサや排せつ物の後片付け等、適正な管理を行う
- ★ 野良猫による生活環境被害の軽減や、不幸な野良猫の数を減らすために不妊去勢手術を行う

不妊去勢手術は絶対に必要？

猫は非常に繁殖力が旺盛で**1年に2～3回**出産し、1回に**平均6匹前後**の子猫を出産します。これ以上野良猫を増やさないために不妊去勢手術をして、出産を防止することが「地域猫(街ねこ)」活動を行ううえで重要なポイントの一つです。

大阪市では

「所有者不明猫適正管理推進事業」(街ねこ事業)を実施しています!

- ★ 地域住民、大阪市及び委託動物病院の三者が協働して取り組む事業です。
- ★ 猫の飼養管理のルールを決めたうえ、地域住民への周知と合意形成等が必要です。
- ★ 不妊去勢手術の費用として、1匹あたり2,500円の負担をお願いします。(残りの不妊去勢手術の費用は、大阪市と委託動物病院が負担します。)
- ★ 不妊去勢手術後の猫(街ねこ)は地域住民が主体となって、**ルールに基づき適正に飼養管理(エサ場やトイレの清掃等)**していただきます。

大阪市は、地域の方々に街ねこ事業を正しく理解していただくためのお手伝いをいたします。



耳のV字カットは、不妊去勢手術済の証です。

中性的になるので、繁殖期の争いの声なくなります。

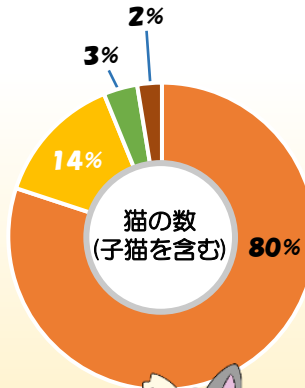
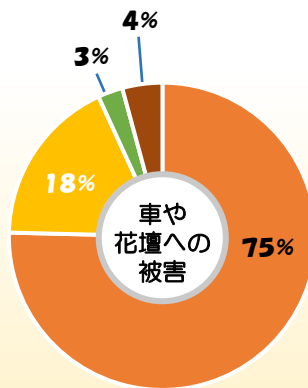
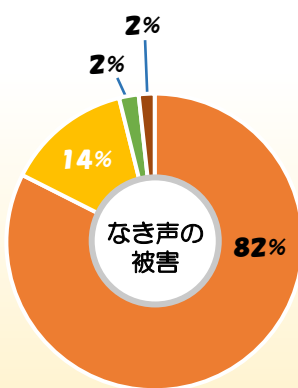
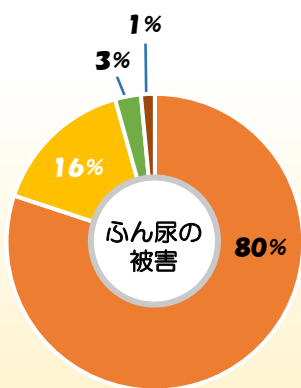
去勢によって、尿のにおいが弱くなると言われています。

街ねこ事業で**464地域(実地域数)**、延べ**1322地域(地域指定数)**合計**7828匹**の所有者不明猫に不妊去勢手術を実施しました。(令和7年3月31日時点)

実施地域に対するアンケート結果

平成26～令和5年度実施地域に対するアンケートより(有効回答数:5,718)

■【減った】 ■【変わらない】 ■【増えた】 ■【無回答】



実施地域では7～8割の住民が、**ふん尿、なき声等の生活環境被害**や**子猫を含む猫の数が減った**と回答しています

お問い合わせ先

- ★ 野良猫による生活環境被害の相談
- ★ 街ねこ事業をはじめたい



各区 保健福祉センター

